

特集

町政あんない

情報コーナー

まなびすと

キラリ健康ナビ

わいわいプラザ



一般書

近代日本の旅行案内書図録

荒山 正彦 著

(創元社)

明治初期から昭和戦前期に至るおよそ七十年間に出版された「旅行案内書」の系譜をたどる一冊。彩色豊かな図版約六百点を高精細画像で収載し、旅行・観光から近代日本の姿を浮かび上がらせる。



一般書

未来

湊 かなえ 著

(双葉社)

ある日、十才の章子に突然届いた一通の手紙。送り主は未来の自分、三十才の章子だという。信じているあいだは、本物の未来からの手紙。章子はその夜、返事を書き…。



児童書

つくえはつくえ

五味 太郎 作

(偕成社)

(幼児向け)
お父さんが男の子にとっても広い机を作ってあげました。でも、広すぎて机の上ですが、こんな広いところで遊ばない手はありません。友だちがやってきて、楽しく遊びだしました。さらに、どんどん人が増えてきて…。

7/31

図書室休館のお知らせ

資料整理のため、7月31日(火)は、図書室をお休みします。

8月1日(水)からは平常どおり利用できます。

▶問合せ 社会教育センター図書室 ☎28・5449



豊山俳句クラブ

青山克己 選

桐の花貨物列車の音過ぎる 高木須磨子

万緑のその又奥の社かな 田村多喜子

著我咲ひてまだ茅葺きの残る村 坪井昭子

昭和といふ時代知らぬ子や「昭和」の日 杉浦みどり

風薫る瀬音の空の青さかな 小塚美枝

春泥に馬蹄の跡のくつきりと 坪井径子

豊山歌壇

水野笑子 選

吾が為に子らとの思ひ出今少し 一柳千鶴子

吾も含め老いの所為かと納得の 井上とよほ

寝る前も準備をさをさ怠らず 木村和子

紅白の椿の花の咲く庭に 佐藤良子

今年も鳥の巣箱吊るせり

閉ざされし主人なき家の白つつじ 青山とも子

杜若すてきな夢を届けます 水野眞弓

新緑に哲学語る夫婦かな 谷崎 琴

渡りゆく風のかたちに藤の花 岡島 齋

豌豆を百摘み百のすじを取る 石黒貴代子

筍掘る自在に風を聞きながら 青山克己

土俵上にて挨拶する市長倒れ込む 柴田満枝

即ネットにて空中世界へ

青空に映えたる黒の制服に 鈴木久子

孫の一步は輝き増して 鈴木弘香

西窓ゆ見えぬし青空家が建ち 中澤芳子

古い夫婦慌てふためく停電に 水谷弘子

この地区トラブルとスマホ見て孫は

四股踏める若き力士か笑む顔に 水野勝代

デイの壁画はドスコイドスコイ 世界の平和目の前に有るを

編集後記

「人生時計」という言葉がある。人生を一日に例えるという考え方だ。年齢を三で割った数字を今の自分の人生時刻とする。例えば、十八歳であれば朝六時、ちょうど目が覚めたばかりの頃といえる。一日の半分の正午は三十六歳。多くの方が定年退職を迎える六十歳は、午後八時、仕事から帰宅したあとの一息つく時間帯だろうか▼この「人生時計」の計算によると、一日の終わりの二十四時は七十二歳となる。長寿大國日本の平均寿命は八十歳超。日付を越えてまだ元気に過ごす方も多いだろう▼夜更かしをしようとするのは、どんなときだろうか。趣味に没頭するとき、好きな本を読みふけるとき、誰かと長電話をしているとき。何かに夢中になっているときほど、時間はあっという間に過ぎる▼八月から六十五歳以上の方を対象に、介護支援ボランティアポイント事業が始まる。地域で活動したい方、退職後の時間を有意義に過ごしたい方など、まずはお気軽に説明会にご参加いただきたい▼夢中になれるものを探して、人生の夜更かしを楽しんでみてはいかがだろうか。